

西多夜新聞 2020/10/9号

「いっしょに元気」 園児たちからの贈り物

福生 ヨコタホーム

街のトビッチ



折り紙の花束を受け取るヨコタホームの稲垣美彦施設長と職員

横田基地近く、国道16号沿いの特別養護老人ホーム「ヨコタホーム」（福生市福生2300-4）は、近隣の保育園、福生杉ノ子保育園（志茂47-3）、東福保育園（福生209）との交流を続けてきた。よく知られる唱歌を合唱したり、手遊びを共にしたり、小さな手で肩をたたいたり、園児とホーム入居者とのふれあいは親密で楽しいひとときとなっていた。園児たちは自分たちの祖父母より高齢の入居者から、いたわりと思



やりの心を学ぶ。入居者は園児たちから元気をもらってきたという。

しかし、今年は両保育園とも、コロナ禍のために園児たちの施設訪問を都の緊急事態発令宣言以前の3月から中止していた。コロナウィルスの収束による再開を待っていたが願いは叶わなかった。そこで、敬老の日に合わせ、園児たちが心尽くしのプレゼントをする事になった。杉ノ子保育園は年長



クラス全員が折り紙で花を折り、写真上、花束にして9月14日に年長クラスの担任がホームに届けた。

東福保育園は年長クラスがそれぞれペットボトルとビーズでモビールを作り、写真下の2枚、カードを添えて9月17日にホームに届けた。両保育園から届けられた花束とモビールはホームの玄関等に飾られ、入居者やその家族の目にとまり心を和ませている。